

## ○プログラム名：甲状腺専門医取得コース

## ○プログラムの特色

甲状腺疾患の内科系と外科系の両方の専門医を取得することによって、「甲状腺学」を極めるコースです。甲状腺に関する内分泌学のおよび形態学的(超音波検査・細胞診)修練を行うと共に、甲状腺外科手術の研鑽を行います。当科は全国でも有数の甲状腺手術症例数(年間170~190例)を誇り、指導医のsuperviseのもと、専門性の高い「甲状腺手術」の術者を多数経験することが出来ます。

甲状腺疾患を中心に研修を進めますが、研修開始後3年で外科専門医を取得します。外科専門医取得には、消化器・心臓・小児外科の症例経験が必須であるため、初期研修で充足していない分野を中心に、院内の外科診療各科での研修も行います。その後は2年で、日本甲状腺学会専門医、甲状腺外科専門医(日本甲状腺外科学会で専門医制度を準備中)を取得します。

臓器別診療体制の導入により、内科系と外科系の垣根が取り外されつつあるいま、本コースは正にこれに対応したものです。

## ○年度ごとの研修内容

後期研修開始時には、個人の初期研修時の外科症例経験数に応じ、外科専門医を最短で取得するために、不足分野の研修ができる研修プランを作成します。

後期研修1年目 卒業3年目	消化器・小児外科 (6ヵ月)	心臓・血管外科 (4ヵ月)	乳腺外科 (2ヵ月)
後期研修2年目 卒業4年目	呼吸器・甲状腺外科での研修		
後期研修3年目 卒業5年目	外科専門医試験/呼吸器・甲状腺外科での研修		
卒業6年目	甲状腺専門病院での研修		
卒業7年目	甲状腺専門病院での研修/呼吸器・甲状腺外科での研修		
卒業8年目	日本甲状腺学会専門医試験/日本甲状腺外科学会専門医試験		

日本外科学会外科専門医制度による修練開始登録後満4年以上経過した段階で外科専門医の予備試験(筆記試験)が受験できます。

1. 予備試験に合格。
2. 日本外科学会外科専門医制度による修練開始登録後満5以上経過。
3. 規定の修練を経験(最低手術件数350例、術者120例)。1~3の条件が満たされた段階で外科専門医の認定試験(面接試験)が受験できます。

外科専門医あるいは外科専門医筆記試験合格者は卒業後修練期間7年以上経過した段階で規定の手術経験と業績が満たされると呼吸器外科専門医試験を受験することができます。

注意：初期研修開始時点で外科専門医の修練開始登録をせずに後期研修開始時点で修練開始登録した場合でも、医籍登録後2年6ヵ月以内に登録すれば修練期間は医籍登録年月日から算定されます。(修練開始登録以前の初期研修時の症例経験が算定できるようになるということです。)そのためには後期研修開始半年以内に修練開始登録が必要になります。

注意：日本甲状腺外科学会専門医試験制度については、現在準備中ですが、2年以内に導入される予定です。

## ○週間スケジュール

外来では、結節性甲状腺腫だけでなく、バセドウ病や橋本病の薬物療法の診療を行います。超音波外来では、結節性病変の診断や超音波ガイド下の細胞診・エタノール注入療法の手技を学びます。気管支鏡外来では、気道浸潤甲状腺癌のインターベンション治療を経験することが出来ます。化学療法外来では、甲状腺未分化癌に対する抗癌剤治療を行います。処置外来では、気管切

開管理をしている患者さんの、カニューレの交換や気管支鏡検査を行います。レチナ、Tチューブ、ステントの実際の管理と挿入の適応を学びます。細胞診勉強会では、超音波外来で採取した細胞を鏡検し、指導医と共に診断を行います。また、細胞診指導医資格取得のために、呼吸器を中心にその他の臓器の鏡検も行います。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
	7:45 早朝会議・抄読会	7:30 術後症例検討会/学会予演会				
午前	手術①	教授廻診/手術②	気管支鏡外来	外来診療	教授廻診/手術④	外来診療
午後	外来診療	手術③	化学療法外来/病棟診療	超音波外来	処置外来/病棟診療	
	17:00 術前症例検討会			外来検討会		
	18:00 細胞診勉強会	18:00 院内研修会			18:00 細胞診勉強会	

#### ○取得できる資格

外科専門医、日本甲状腺学会専門医、甲状腺外科専門医(制度準備中)、気管食道科学会専門医、気管支鏡専門医、レーザー専門医、細胞診指導医

#### ○プログラム終了の評価・認定方法

日本甲状腺学会専門医と日本甲状腺外科学会専門医の取得をもってプログラム終了と評価します。

#### ○処遇・待遇

後期研修最初の3年間は、後期研修医として月額20万円が支給されます。当直を行ったときは、一回につき9800円が支給されます。週2コマ(午前または午後を各1コマと数えます)の院外勤務が可能です。(勤務先は研究室より紹介致します。)給与は勤務先から支給されます。以上、月収は85~90万円くらいになります。健康保険、厚生年金、労災保険に加入します。

4年目以後は、関連施設の甲状腺専門病院に出張して、甲状腺疾患全般についての研修を行います。処遇は出張先病院の規定に従います。

#### ○学会活動・勉強会

日本内分泌外科学会総会、日本甲状腺外科学会総会、日本甲状腺学会では、必ず演題発表を行い、専門医取得のための業績を蓄積します。豊富な症例により、学会発表の題材には事欠きません。他に、日本外科学会総会、日本内分泌学会総会、日本甲状腺学会関東支部会、西東京内分泌代謝研究会などへも参加します。

また、超音波検査勉強会を放射線技師と共に行うと共に、月に1回、甲状腺専門病院のクリニカルカンファレンスに参加して、甲状腺内科的疾患を中心に研鑽を行います。

#### ○おわりに

本邦では甲状腺疾患が多いにもかかわらず、甲状腺専門医の数は充足しているとはいえません。このため、患者さんは大学病院専門外来や甲状腺専門病院に集中しているのが実情です。とくに、増加傾向にある甲状腺癌に対して、内分泌学的知識を持って切れる甲状腺外科医は不足しています。甲状腺疾患に興味を持つ医師が、一人でも多く本コースで「甲状腺学」を修練し、高い医療水準で診療に当たれるようになって頂きたいと考え、本コースを企画しました。